



湘南アイパーク学生研究発表会に参加しました！

令和 8 年 5 月 23 日、湘南アイパークにて「湘南アイパークフェスタ 2026」が開催され、そのイベントの 1 つとして学生研究発表会がありました。この学生研究発表会は一般公募による中高校生と大学生の医療と健康に貢献するライフサイエンスに関する研究発表会です。多数応募の中、審査を通過し、麻布大学所属の 3 年生 2 チームがスライド発表を行いました。以下、探究タイトル、アブストラクト、発表メンバーです。

【探究タイトル】新種のウイルスによって起こりうる危険に備えよう

【アブストラクト】本研究では、新たなウイルスを設計し、パンデミックが起きた際に、有効な手段を見つけることを目的とした。麻疹ウイルスを元にし、他のウイルスとの遺伝子を組み替えることで、致死率や感染力がどのように変化するかを予想した。その結果、致死率があまりにも高いウイルスであると対策することは困難であるため、新たなウイルスが発生しないような環境作りを考え、対策を講じて行く必要があると考えた。

【発表メンバー】3 年 1 組 小野 湧星さん、野村 仁志さん、穂坂 波瑠さん

3 年 2 組 小橋 遥翔さん

【探究タイトル】動物のウイルスに対して一番効く消毒薬は？

【アブストラクト】私達は狂犬病をはじめとする動物性由来のウイルスにおいて、近年の変異株による感染力強化に対応する為、まず市販の消毒薬がどれほどの効果があるのか調べました。班員が用意した 4 種の消毒薬を 6 つの濃度に薄め、培養した細胞に感染させて感染の度合いを調べたところ、エタノール濃度は消毒液の効果に影響し辛いことがわかりました。次点で消毒液の pH に着目し、実験を行った際、pH の値が極端だったことからウイルスが全滅してしまったので、今後は pH の幅を細かくし、抗ウイルスに最適な pH を調べていく予定です。

【発表メンバー】3 年 1 組 田中 ロバートさん、野中 健志さん、林 侑吾さん

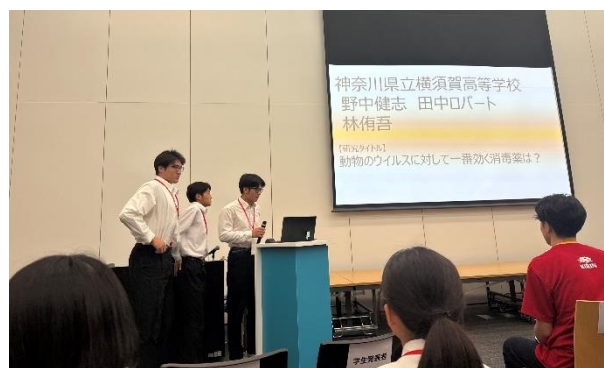
✿ 湘南アイパーク学生研究発表会に参加して感じた事 ✿



今回のアイパーク研究会では、これまで取り組んできた研究成果を発表しました。会場には大学の教授や研究機関に勤めていらっしゃる方々が多く、非常に緊張感のある雰囲気でした。実際に他校の発表を聞くと、自分たちとは異なる視点や着眼点を持った研究が多く、普段の生活では気づくことのできない内容に触れることができました。特に、学校内に研究所があったり、他大学と連携して研究を行っていたりする点が印象に残りました。今回学んだことやいただいたアドバイスを、今後の研究活動に活かしていきたいです。

3 年 2 組 小橋 遥翔

私たちはアイパークでこれまで研究してきた「ウイルスに効く市販消毒薬は？」について発表しました。発表会には色々な高校が参加しており、自分たちの考えたことのないような内容について研究している高校もありました。他校の発表を聞いて自分の知見が広がりました。また自分たちの研究を発表した後にフィードバックをいただき、自分たちの研究内容の良いところと足りない部分を知りました。参加しているいろんなことを学べたので参加してよかったです。3 年 1 組 田中 ロバート



実際に使用したポスターは AB 棟間東側 2 階廊下に掲示しています。ぜひご覧ください！